

デジタルサイネージ

Case Study

青森県庁 様

「攻めの農林水産業」を目指し、富士通デジタルサイネージを導入。
青森県の魅力を、旬のコンテンツでアピールしています。

業種	自治体
導入システム	デジタルサイネージ、UBWALL

青森県庁様では、東京にある青森県のアンテナショップ「北彩館」における情報発信力の強化を目指し、デジタルサイネージを導入。食や観光に関する情報を大画面でPRしています。また旅行者向けには、青森駅前の「観光交流情報センター」内にインタラクティブ情報端末のUBWALL（コピウォール）を導入。2つのシステムでコンテンツが共有できるため、効率的な情報発信が実現しました。

課題	アンテナショップへのタイムリーな情報配信	効果	青森で制作したコンテンツを、東京のアンテナショップへ配信。動画のアピール力が、販売促進に役立っている。
	観光客への情報提供と携帯サイトへの誘導		青森駅前に情報端末を設置し、観光客向けの情報を提供。検索サービス等を提供する携帯サイトへの入り口としても機能している。
	コストを抑えたシステムの導入		SaaS型サービスであり、かつコンテンツ共有が可能のため、導入コストや運用負荷が抑えられた。

<p>青森県 企画政策部 情報システム課 IT政策推進 グループマネージャー 副参事 高坂 幹 様</p> 	<p>青森県 農林水産部 総合販売戦略課 戦略推進グループ 技師 高橋 愛也 様</p> 	<p>青森県 企画政策部 情報システム課 IT政策推進グループ 主査 葛西 晃二 様</p> 
---	--	--

導入の背景

東北新幹線全線開業に向けて、 青森の魅力をPRするツールを検討しました。

2010年12月の東北新幹線全線開業を目前に控えた青森県では、「攻めの農林水産業」のキャッチフレーズのもと、あおり「食」産業の充実強化に取り組んでいます。県産品の生産・流通・販売におけるトータルなサポート、情報戦略の積極的展開といった流れの中で、青森県の農林水産部 総合販売戦略課様が着目したのが、青森県のアンテナショップ「北彩館」東京店の機能強化です。首都圏に対して、青森から直接、県産品の魅力をタイムリーにアピールするツールはないか、と考えていました。

一方、同じ青森県の企画政策部 情報システム課様でも、青森県への旅行者へ効果的な情報発信ができるシステムを提供したいとの構想がありました。この二つの課は、「情報発信力の強化」という同じ目的でツールの検討を重ねていました。そしてどちらも、デジタルサイネージに行きついたのです。

[高坂様]

「東京出張の際、何箇所かで富士通のデジタルサイネージ端末を見て、我々の情報戦略構想にぴったりだと感じました。」

採用のポイント

SaaSで低コスト、コンテンツ共有が可能で、 運用負荷も抑えられます。

青森県では、まず総合販売戦略課様が、東京アンテナショップへの大型ディスプレイタイプのデジタルサイネージ導入を決定しました。

富士通のデジタルサイネージは、SaaSのため専用ソフトやサーバーが不要で、導入や運用の手間やコストが抑えられるというのが大きなメリットです。SaaS以外のシステムならば、導入・運用コストは1.5～2倍程度必要だった、と総合販売戦略課様では想定しています。

さらに県庁内の連携により、総合販売戦略課様でのデジタルサイネージ導入が情報システム課様に伝達され、システムの拡張が始まりました。情報システム課様では、インタラクティブ機能を持つ富士通のデジタルサイネージ端末「UBWALL」を、青森駅前の「観光交流情報センター」内に設置することを決定しました。端末の機能や操作性はもちろん、総合販売戦略課様と同じSaaSを利用すると、東京アンテナショップと青森駅前の情報端末でコンテンツが共有できる、運用の負荷やコストが抑えられる、拡張性も高い、といった点が富士通を採用する決め手となりました。

[高橋様]

「コスト、機能・運用負荷・拡張性等において優れていると思いました。」

導入システムの概要

東京と青森駅の2拠点に、 青森県庁から共有コンテンツを配信しています。

青森県庁様では、まず2009年11月、アンテナショップ「北彩館」東京店にデジタルサイネージを導入。2台の65インチディスプレイのうち、1台は通行者のため店外向けに、もう1台はお買い物中のお客のため店内に設置。コンテンツは青森県の総合販売戦略課様で作成し、インターネットを使って富士通配信センターにアップして、ショップに配信しています。

そして、2010年3月には青森駅前にデジタルサイネージ端末「UBWALL」を導入しました。この端末もインターネットで富士通配信センターに接続されており、東京のショップとコンテンツを共有しています。

バラエティに富んだコンテンツを青森で作成し、東京に発信しています。

総合販売戦略課で作成しているコンテンツの内容は、りんご・にんにく・なごいもなど、アンテナショップ「北彩館」東京店で提供している青森県特産品の紹介が中心です。ねぶたなどの観光案内も紹介しています。また、生産の現場や生産者の顔も紹介し、商品の安心・安全をアピールしています。他にも食材のレシピ紹介、売れ筋商品のピックアップなど、バラエティに富んだコンテンツを流しています。

青森駅前の情報端末では、共有コンテンツ+地元情報を提供しています。

青森駅前に設置された「UBWALL」は、縦長のパネルを持つ情報端末です。パネルは大きく3つに分かれており、上段は東京アンテナショップのコンテンツと同じ動画、中段は青森県の郷土料理や伝統工芸の紹介、観光案内など旅行者向けの地元情報を表示、下段は操作パネルとなっています。またFeliCa(※1)ユニットを搭載しており、さらに詳しい情報を知りたいといった場合は、携帯電話をかざすと青森の情報サイトのURLが入手できます。サイトにアクセスすると、施設や店舗の検索、個々の詳細情報表示、ナビゲーションなどのサービスが利用できます。UBWALLは観光交流情報センター内に設置されているので、携帯電話に不慣れた方は、案内所で詳しい情報を訊ねることもできます。

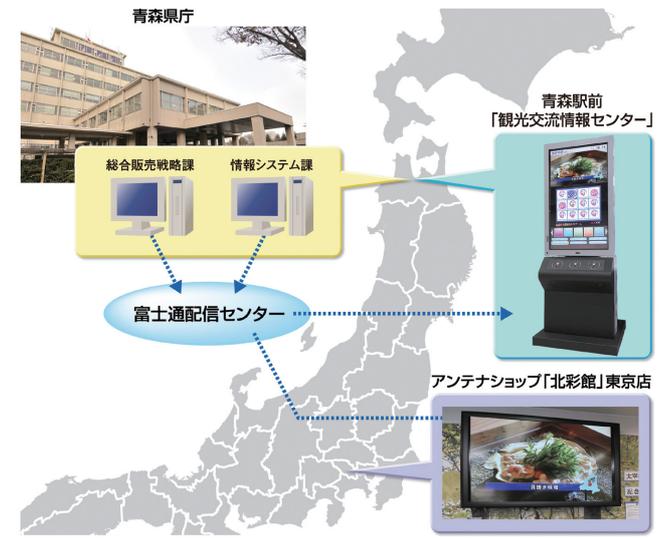
[葛西様]
「複数の端末でコンテンツを共有できるので、端末が増えても運用の負荷を抑えられる、というのは大きなメリットです。」

利用者の意見を重視し、より良いコンテンツを提供していきたいと考えています。

UBWALL導入に際して、情報システム課様では「あおりユビキタス系養成事業(※2)」の一環として、地元の学生と一緒にパネルの配色やロゴなどを検討。その結果、親しみやすく、使いやすいパネルデザインが実現しました。機能面においても、若者ならではの要望がいくつも出されましたが、その中に「ゲームがあると楽しい」という意見があり、情報システム課様がこれに着目して富士通に要望を提示されたため、青森県の名産品を当てる絵合わせゲームを追加しました。利用者の皆様に、楽しみながら名産品に興味を持っていただく・覚えていただく、という効果に一役買っています。青森県庁様では、今後も利用者の意見を重視し、利用者へのアンケートなどを継続的に実施しながら、コンテンツの改善を進めていく予定です。「攻め」の姿勢で前進する青森県庁様をサポートするために、富士通では今後もデジタルサイネージの機能やサービスの充実に努めてまいります。

[高坂様]
「若い人たちの斬新なアイデアを、我々が調整役となって富士通に伝えていく。この繰り返しでシステムを向上させていくと期待しています。」

●システム構成図



詳細はwebにてご覧いただけます。
掲載情報
<http://fenics.fujitsu.com/casestudies/2010/aomori/>

導入の効果・将来の展望

運用コストを抑えて、情報発信力を強化することができました。

紙媒体の広告に比べると、動画には圧倒的なアピール力があり、お客様の購買意識に対する訴求力も大です。東京アンテナショップでは、ディスプレイの動画で見た美味しそうな食品が、店内ですぐに購入できる、という流れが販売促進に直結していくと考えています。また青森駅前のUBWALLは、青森の観光情報を見せながら、利用者を携帯電話の青森情報サイトに誘導しています。これによってサイトの認知度がアップし、より多くの方々に便利な地元情報が提供できると考えています。運用コストの面においても、SaaSを利用しているため月額料金だけで済んでおり、高い費用対効果を上げています。

※1) FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
※2) あおりユビキタス系養成事業：高校生から大学生層を対象とした「あおりユビキタスフェロー候補生」と、それをサポートするインキュベーター企業等が研究活動を行い、産学官が連携してICT関連スキル・意識の高い人材を育成する事業。

お客様概要	青森県庁 様	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 所在地：〒030-8570 青森市長島一丁目1番1号 ■ 知事：三村 申吾 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 職員数：4,298名（一般行政部門のみ、平成21年4月1日現在） ■ ホームページ：http://www.pref.aomori.lg.jp 	

(注) 本事例中に記載の肩書きや数値、固有名称などは取材日現在(2010年3月)のものとなります。

富士通株式会社
サービスビジネス本部 映像ビジネス推進部
〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25 (富士通ソリューションスクエア) TEL 03-6424-6583 FAX 03-6424-6449
<http://fenics.fujitsu.com/networkservice/digitalsignage/>